



飛驒匠のDNAを受け継ぐものづくりのまち

メイド・バイ飛驒高山認証

市では、飛驒高山ブランドコンセプトに合う独自性と信頼性の高い地場産品を「メイド・バイ飛驒高山認証産品」として認証しています。ものづくりの匠たちの熱い想いに触れてください。

No.26

飛驒一位一刀彫

(飛驒一位一刀彫協同組合)



▲兄・亮友さん(左)、弟・亮佳さん(右)

木の国・山の国とも称される飛驒。雄大な自然が生み出した大切な文化のひとつが「飛驒一位一刀彫」です。これは、江戸時代末期の彫師 松田亮長が考案したとされています。亮長は、幼いころから彫刻に興味を持ち、やがて日本各地の名所を歴遊するようになります。

ある時、鮮やかな色彩が施された奈良一刀彫を目にします。「木の風合いが色に隠れてしまっている」と惜しく感じた亮長。そこで思いついたのが、飛驒の銘木「イチイ」を使った一刀彫でした。

飛驒一位一刀彫は、木肌そのものを活かした彫りが特徴です。1年で1mmくらいずつ成長するイチイは、木目が詰ま

過去・現在・未来を楽しむ「木の物語」



▲外側の白い部分を白太、内側の赤い部分を赤太という。赤太はタンニンが多く、年を経るごとにつやのある茶褐色に変わる。

つて美しく、内側と外側で色が異なるため、彩色に頼らず、彫手の技量ひとつで様々な表現ができます。

亮長の流れを汲む「亮派」の継承者で、飛驒一位一刀彫協同組合の津田亮友(本名 和彦)さん、組合の代表理事を務める亮佳(本名 真五)さん兄弟は、こう語ります。「地域の良さを知るためにも、一刀彫に限らず様々な伝統工芸を知ってほしい。だから、私たちにできることは何でもします」。

現在は、修学旅行生の受け入れや市内小中学生を中心とした体験講座を積極的にこなしています。

実直で心温かい職人たちの挑戦は、まだまだ続きます。

市長室へ ようこそ

●市民と市長の面談日

4月25日(月) 9:00~11:45

*事前にご予約ください

*新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止する場合がありますのでご了承ください。

市長室直通FAXもご利用ください FAX●36-2060

問合せ 秘書課 ☎35-3130

ご意見・ご提案をお寄せください

市民が主役のまちづくりを進めるため、市政へのご意見やご提案を受け付けています。

【方法】

①ファクス 35-3174へ[FAX]

②Eメール [HP]のお問い合わせフォームから送信

*Eメールで回答をお送りする場合がありますので、送信元ドメイン「city.takayama.lg.jp」の受信許可を設定してください。

③ご意見箱 本庁・各支所のご意見箱に投函

問合せ 広報公聴課 ☎35-3134

メイド・バイ飛驒高山認証の説明会を開催します

市では、「飛驒高山ブランド(飛驒高山の風土と飛驒人の暮らしが生み出す本物)」にふさわしい産品を認証するメイド・バイ飛驒高山認証制度を設けています。農産物や加工食品、家具、工芸品など幅広く受け付けています。

*認証されると認証ロゴマークを貼ることが出来ます。市がホームページやパンフレットなどで積極的にPRし、周知や取扱店舗の拡大を推進します。

申請を検討しているみなさんに向けた説明会を行います。ぜひご参加ください。

期日 4月22日(金)

時間 午後7時~9時

場所 201・202会議室(本庁2階)

申込み 4月15日(金)までに、
問合せ ブランド戦略課

TEL ☎35-3001

広報ID 10096303